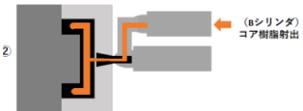
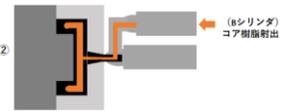


『Q&Aによるプラスチック全書』正誤表

このたびは、『Q&Aによるプラスチック全書』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本書の内容に以下の訂正箇所がありましたので、訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

箇所		誤	正
p.14 1-Q18	上から12行目	ランナロックピンを設けることもなる。	ランナロックピンを設けることも ある 。
p.33 1-Q55	圧縮比の式	$C/R \text{ (体積比)} = \frac{(\pi/4)[D^2 - (D-2h_2)^2] \times 1D}{(\pi/4)[D^2 - (D-2h_1)^2] \times 1D}$	$C/R \text{ (体積比)} = \frac{(\pi/4)[D^2 - (D-2h_2)^2] \times 1D}{(\pi/4)[D^2 - (D-2h_1)^2] \times 1D}$
p.51 1-Q94	写真	ディスクゲート成形品写真 欠落	
p.167 2-Q41	図(②)		
p.232 4-Q21	表 「荷重たわみ温度」の欄	(°C、180MPa)	(°C、 1.80 MPa)
p.271 4-Q76	上から14行目	生命解性プラスチックをバイオプラスチックと総称している	生 分 解性プラスチックをバイオプラスチックと総称している
p.300 4-Q138	下から5行目	③残留ひずみは小さくする。	③残留ひずみは小さく なる 。
p.351 5-Q48	下から8行目	試験片を図46(b)のようにセットし、	試験片を Q46 図(b)のようにセットし、
p.362 5-Q65	表 定ひずみ法 曲げ法の 試験法 下から2行目	クラック発生の有無無を観察する。	クラック発生の有 無 を観察する。